

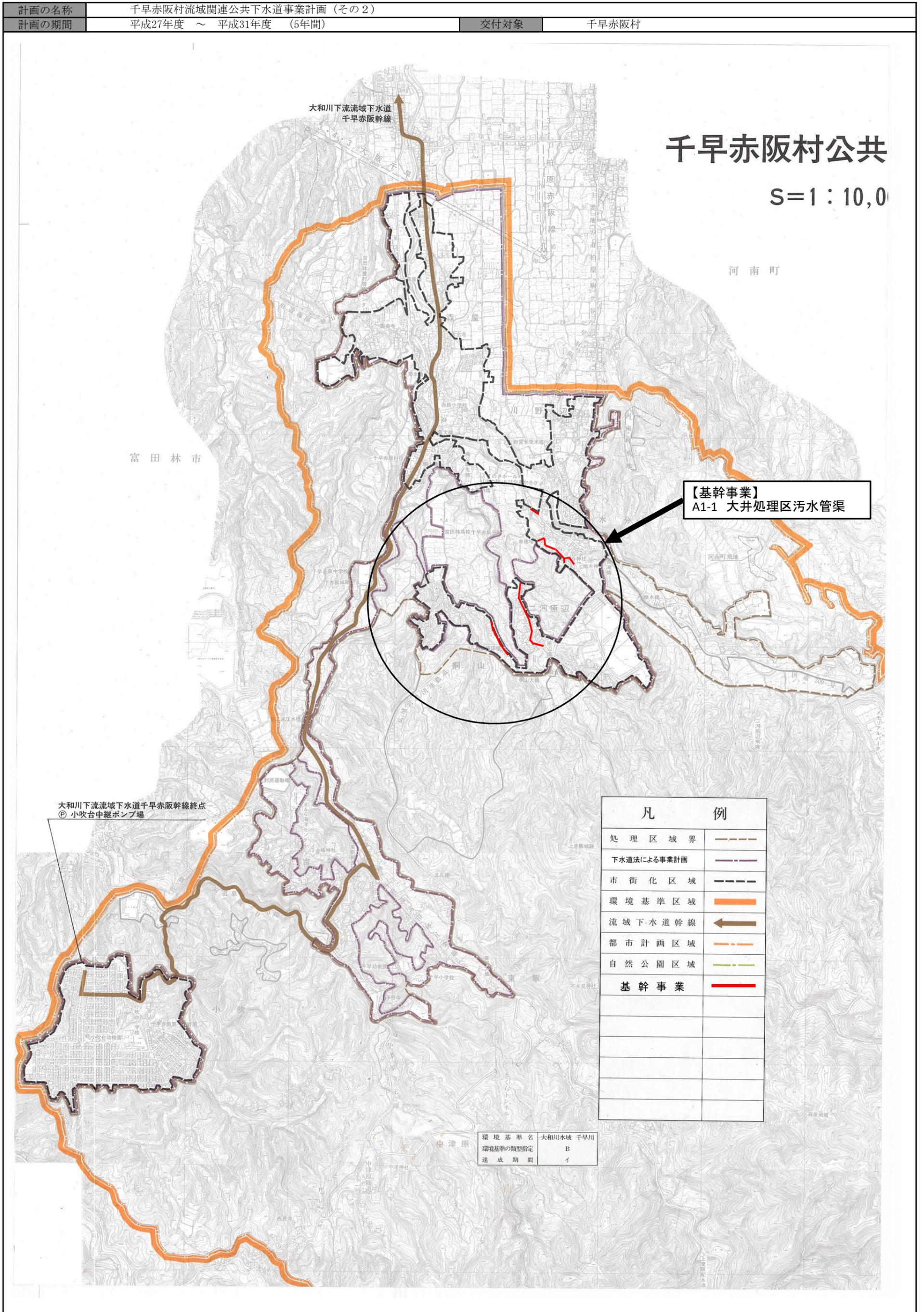


交付金の執行状況

(単位：百万円)

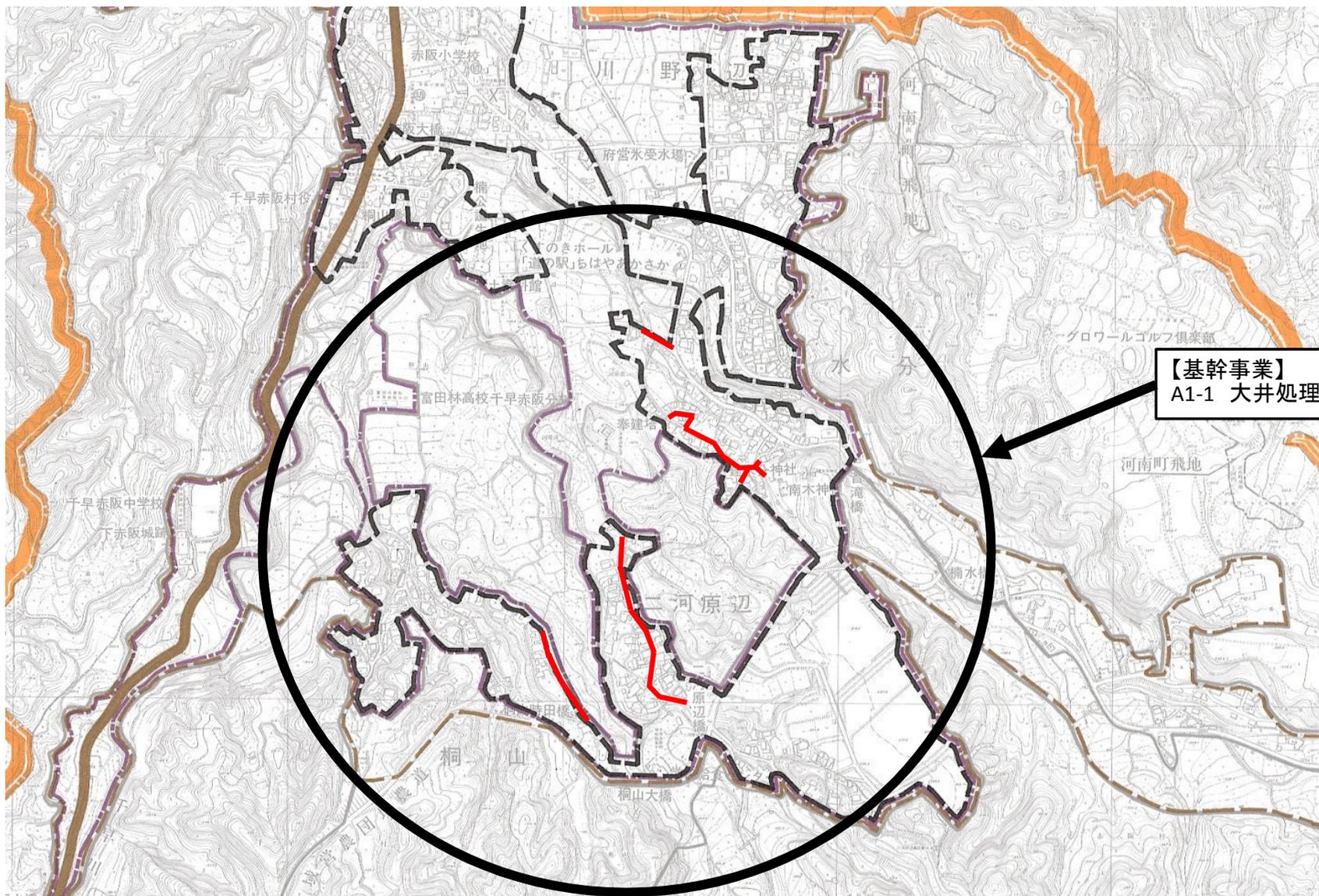
	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	11	10	8	10	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	11	10	8	10	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	5.7	0	
支払済額 (e)	11	4.3	13.7	10	
翌年度繰越額 (f)	0	5.7	0	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	-	-	-	-	

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。



(参考様式3) (参考拡大図面)

計画の名称	千早赤阪村流域関連公共下水道事業計画 (その2)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	千早赤阪村



【基幹事業】  
A1-1 大井処理区污水管渠

凡	例
基幹事業	<span style="color: red;">—</span>

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:千早赤阪村流域関連公共下水道事業計画(その2) 事業主体名:千早赤阪村

チェック欄

<b>I. 目標の妥当性</b>	
<b>①基本方針・上位計画等との適合等</b>	
(1)基本方針と適合している。	○
(2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
<b>②地域の課題への対応</b>	
(1)地域の整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
(2)地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
<b>II. 計画の効果・効率性</b>	
<b>③目標と事業内容の整合性等</b>	
(1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
(2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
(3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
<b>④事業の効果</b>	
(1)十分な事業効果が確認されている。	○
<b>III. 計画の実現可能性</b>	
<b>⑤円滑な事業執行の環境</b>	
(1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
<b>⑥地元の機運</b>	
(1)継続的な事業展開が見込まれる。	○